

| 実践校に関する事項  |                      |                     |
|--|----------------------|---------------------|
| 学校区分   | 学校名                  | 学校長名                |
| 中学校  | 印南町立印南中学校            | 木村 栄一               |
| 学校所在地  |                      |                     |
| 〒 649 - 1534   | tel 0738 ( 42 )0021  | fax 0738 ( 42 )1042 |
| e-mail inami-j@town.wakayama-inami.ed.jp   |                      |                     |
| 担当者名   |                      | 役職名・担当教科            |
| 清水 康利  |                      | 教諭・社会科              |
| <b>〔学校の概要〕</b><br>本校は日高郡中部の海岸沿い、国道42号線に面した所にあり、漁業と農業がさかんな地域である。全校生徒は98名で、とても明るく活動的である。また学校行事や体験活動にも積極的に、意欲的に参加している。また地震・津波・火災などを想定した、防災教育や防災訓練も充実している。   |                      |                     |
| 研究実践に関する事項   |                      |                     |
| 対象者児童・生徒   | 学習支援者等（延人数）          | 主な活動場所              |
| 学年 1 年生 27 名   | 5 名 職員 5 名           | 熊野古道館・世界遺産センター      |
| 実践研究テーマ  |                      |                     |
| 郷土「わかやま」を学び、後世に伝える知識の育成  |                      |                     |
| 実践教科等名   | 単元名                  |                     |
| 総合的な学習の時間  | 郷土「わかやま」の世界遺産について学ぼう |                     |
| <b>〔キーワード〕</b> ふるさと学習 世界遺産学習   |                      |                     |
| <b>〔単元目標〕</b><br><ul style="list-style-type: none"> <li>・「紀伊山地の霊場と参詣道」が世界遺産に登録された過程を学ぶことで、郷土わかやまに対する理解を深める。</li> <li>・現地学習を通して、わかやまの歴史を体感するとともに、環境維持や自然保護など後世に伝えていくために必要なことを考える力を育てる。</li> </ul>                           |                      |                     |
| <b>〔学習に当たった全学習時間数（世界遺産学習に関わる時間数及び 学習活動名／教材名）〕</b><br><b>全体</b> 4 時間 （ 「 郷土「わかやま」の世界遺産について学ぼう 」 4 時間 ）  |                      |                     |
| <b>〔地域および文化財管理者等との連携の実施状況〕</b><br><ul style="list-style-type: none"> <li>・熊野古道館に訪問し、展覧されている資料を活用して、郷土「わかやま」の歴史について触れた。</li> <li>・世界遺産センターに訪問し、職員の方から世界遺産についての講話をしていただいた。</li> <li>・現地で、世界遺産マスターの方からガイドをしていただいた。</li> </ul> |                      |                     |

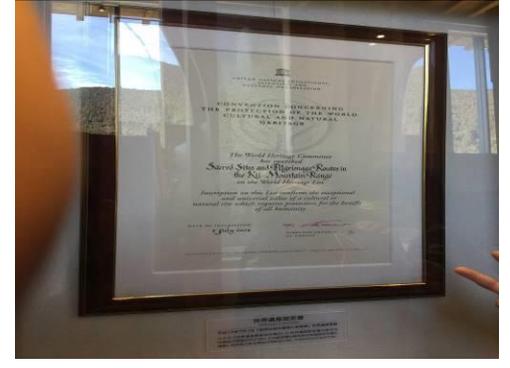
| <b>実践校に関する事項</b>   |                           |  |           |
|--|---------------------------|--|-----------|
| <b>〔单元指導計画概要〕</b>  |                           |  |           |
|  | 主な学習活動                    | 学習への支援   | 評価方法等     |
| 1  | 事前学習（本校）                  | 世界遺産センターのホームページにあるパンフレットを利用して、読み合わせや補助説明を加えながら事前学習を行った。            | ワークシート    |
| 2  | 世界遺産講座（世界遺産センター）          | 世界遺産センターの職員から、世界遺産の歴史や、「紀伊山地の霊場と参詣道」の概要や世界遺産に登録された過程について説明していただいた。 | 観察・ワークシート |
| 3  | 現地学習<br>（三軒茶屋～熊野本宮大社・大斎原） | 世界遺産マスターの方々の説明を聞きながら、三軒茶屋後から熊野本宮大社、大斎原まで2班に分かれて歩いた。                | 観察        |
| 4  | 振り返り（本校）                  | 現地学習の後日、感想文を書かせ、振り返りを行った。  | 感想文       |
| 5  |                           |  |           |
| <b>〔单元学習の成果と課題〕</b>  |                           |  |           |
| <p>○成果</p> <p>生徒は和歌山県の歴史についての知識があまりなく、普段の授業の中では触れる機会が少なかったため、この事業を通して、和歌山県の歴史を学び、考えることができた。また現地に行って、実際に体験することで、自分たちの郷土である和歌山県の良さや、将来の人々に伝えていかなければいけないことを考えることができた。</p> <p>○課題</p> <p>現地で学んだことをしっかりとまとめ、学年だけでなく学校全体に伝えていくためには、事後学習の時間が必要であった。</p>                                     |                           |  |           |
| <b>〔世界遺産学習の効果〕</b>   |                           |  |           |
| <p>世界遺産の学習については普段の学校生活では触れることが少なく、このような機会をいただいたことで、普段の授業では教えることができない貴重なことを学んだり、体験したりすることができた。特に現地学習については、参詣道を歩いたときに生徒の表情が大きく変わり、今まで知らなかった和歌山の自然や歴史を肌で体感することができた。歴史を学ぶだけでなく、後世に伝えていくためには、郷土をより深く知るだけでなく、自然保護や環境維持などの取組が必要になってくると考えることもできた。この学習を学んだことを生かし、郷土わかやまを誇りに思える人材を育てていきたい。</p> |                           |  |           |
| <b>〔世界遺産学習の今後の方向性及び改善点について〕</b>  |                           |  |           |
| <p>世界遺産学習については本校の総合的な学習の時間の一部に取り組んでいこうと検討している。1年時は「紀伊山地の霊場と参詣道」、2年時は「高野山と金剛峯寺」の学習を行い、県内の世界遺産について学ぶことで、郷土「わかやま」に誇りと愛情を持つ人材の育成を行っていきたい。そのためには現地学習だけでなく、事前学習・事後学習の確保に努めなければならない。</p>  |                           |  |           |

## 様式 2

### 平成28年度 「次世代育成事業」における学習記録

[概要報告書 学習記録・活動写真]

#### ○世界遺産講座を受講している様子



#### (生徒の感想)

- ・世界遺産の講話を聞いて、「世界遺産は偶然発見した物ばかり」というのを聞いて、驚きました。そして、世界遺産に登録されたものでも維持することができない場所は登録を取り消されたりするものもあるということから、世界遺産は平和な世の中だからこそ存在する遺産だということがわかりました。
- ・世界遺産には文化遺産・自然遺産・複合遺産があって、ここは「紀伊山地の霊場と参詣道および周囲の文化的景観」という名称で文化遺産に登録されていることがわかりました。

#### ○現地学習の様子

世界遺産センターの方々にガイドをしていただきながら、三軒茶屋から熊野本宮大社・大斎原を目指して歩いた。歩いたことがない生徒がほとんどで、自然や歴史を体感しながら歩くことができた。



#### (生徒の感想)

- ・実際に参詣道を歩いていると、「険しい道だけど、昔の人はここを草履であるいていたんだな」と考えました。緑がとてもきれいで歩いてみてとても勉強になりました。
- ・山や石や川など自然豊かで、その中に神社や人工林や道など歴史が感じられ、うまく調和している、この先も残していかなければならない大切な場所だと思いました。普段体験できないことができる良い経験になりました。